

対象：小学校高学年

●課題のヒント：元気予報士になろう

近年は、ゲリラ豪雨などの突然の気象変化にみまわれることが多くなってきた。被害を少なくするためにも、天気の子報はとても大事。それだけでなく、日頃の天気予報も、わたしたちの行動に影響を与えている。天気について調べて、予報できるようになろう。

●関連教科内容：

- ・理科 天気の移り変わり

●参考にしてほしい活動のながれ

- (1) 1日に2～3回、雲の量や形、動きを観察して、天気とその他気付いたことを記録する。
- (2) 雲の量と形は、どのようにあわせれば良いのだろう。（参考になるウェブサイト…A）
- (3) 観察を続けて、空の様子と天気の関係を見つけ出そう。
観察結果は①日付、②時間、③場所、④雲の写真か絵、⑤方角、⑥気付いたこと、⑦考えたこと、⑧明日の天気の予想
- (4) 気象衛星のサイトで雲画像を見て、全国各地好きな場所の天気を予想しよう。
- (5) 天気予報が社会にとってどんな役にたっているのか、整理してみよう。

●活動の参考になるウェブサイト：

A：あすの天気は？

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?p=general&das_id=D0005110044_00000

B：雲の動きを見れば天気予報ができる？

http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301863_00000&p=box

C：天気の変化に決まりはある？

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301862_00000

D：天気予報の元になる気象観測

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301268_00000

E：気象庁＞防災情報＞気象衛星

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/largec.html>

F：天気が人々の行動を左右する？

<https://bae.dentsutec.co.jp/articles/weather/>